

西日本建物管理株式会社

環境活動レポート

平成22年度

活動期間 2010年06月01日～2011年05月31日

発効日:2011年07月30日

【目次】

● 環境方針	… 2
● 事業概要	… 3
● 環境目標(中・長期を含む)	… 4
(1) CO2排出量	
(2) 排水量	
(3) 廃棄物発生量	
● 環境負荷の実績	… 4
● 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	… 5
(1) 電気・自動車燃料のCO2排出量	
(2) 排水量	
(3) 廃棄物発生量	
● 環境関連法規等の遵守状況の確認並びに違反、訴訟の有無	… 5
● 代表者による全体評価と見直しの結果	… 6
● 対象の範囲と認証・登録の拡大計画	… 7
● あとがき	… 8

● 環境方針

☆ 基本理念

「 お客様の幸せが私たちの幸せです 」

1. 私たちは、お客様と共に地球環境を大切にします
2. 私たちは、お客様と共に地球資源を大切にします
3. 私たちは、お客様と共に生活環境を守る努力をします

☆ 行動指針

私たちは、温暖な気候に恵まれ、自然豊かな岡山の地に育てられました。本社及び作業所の環境負荷の削減に努めこの地域の一員として、未来が見える暮らしを支え、子供たちの将来のために、私たちができる環境活動を全社員で取り組む決意をしました。

- (1) 電気・水道の省エネを推進します。
- (2) コピー用紙の使用量削減に取り組めます。
- (3) 自動車燃料の消費量削減をはかります。
- (4) 廃棄物の削減とリサイクルに取り組めます。
- (5) お客様と共に環境負荷削減に努めます。
- (6) グリーン購入に取り組めます。
- (7) 環境関連法規等の遵守を誓約します。
- (8) 全社員の意識向上に努めます。

制定日 2003年 11月 11日
改定日 2011年 06月 01日
西日本建物管理株式会社

代表取締役 **林 茂樹**

● 事業概要

- (1) 事業所名及び代表者氏名
西日本建物管理株式会社 代表取締役 林 茂樹
- (2) 所在地 【本社】
岡山市北区内山下2丁目11番18号 共済会館ビル5階
- (3) 事業所規模
社員数 209名 ※平成23年06月01日現在
[対象:本社 17名・対象外:作業所(全50作業所) 192名]
- (4) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先
環境管理責任者 石川 光宣
担当者 新井 昌一 河田 真子
TEL (086)232-0844 FAX (086)232-0983
- (5) 事業内容 (認証登録範囲)
清掃管理・設備管理・環境測定管理・貯水槽給水設備管理
防虫防除管理・サービス管理・リフォーム事業(営業)

● 環境目標（中長期を含む）

全環境負荷に対して前年度比各1%削減

- | | | |
|------------|----------------------|--------------------|
| (1) CO2排出量 | 目標値(一人当たり)3231CO2/kg | |
| 内訳 | | |
| ① 電気 | 453.1CO2/kg | |
| ② 自動車燃料 | 2777.9CO2/kg | |
| (2) 排水量 | 目標値(一人当たり) | 10.9m ³ |
| (3) 廃棄物発生量 | 目標値(一人当たり) | 30.2kg |

● 環境負荷の実績

項 目		22年度目標値	22年度実績	達成率
C O 2 排 出 量	電気	7904.1 CO1/kg	8608 CO2/kg	91%
	1人当たり	453.1 CO2/kg	506.4 CO2/kg	89%
	自動車燃料	48531 CO2/kg	48505 CO2/kg	100%
	1人当たり	2777.9 CO2/kg	2937 CO2/kg	94%
排水量		190 m ³	180 m ³	105%
1人当たり		10.9 m ³	10.6 m ³	102%
廃棄物発生量		303 kg	240 kg	126%
1人当たり		17.3 kg	14.1 kg	122%

・購入電力のCO2排出係数:0.555

● 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容

(1) 電気・自動車燃料のCO2排出量

● 電気

扇風機の使用と空調の適温運転の実施、また、必要以上の残業をやめ定時退社の推進を行いました。達成率89%と目標に満たなかったため来期は、上記に加えて直行直帰の有効活用等にも取り組む。

● 自動車燃料

目標値に対し、達成率94%と成果を上げることが出来ませんでした。来期に向けては、目的地へ効率良く到着出来るルートの情報交換を行ない無駄のない運行に努めると共に自転車も有効に活用する。

(2) 排水量

目標値に対し、達成率102%と成果を上げることが出来ました。来期に向けては、業務(定期作業)での各現場でのタオル・モップ等の使用量を見直し、洗濯物の削減に取り組めます。また、洗濯機についても節水型のものへの導入を検討します。

(3) 廃棄物発生量

社員の意識向上により目標値に対し、達成率122%と成果を上げることが出来ました。来期に向けては、引き続きコピーミスの削減・裏紙使用の徹底と、3Rをさらに推進して焼却ごみの削減を図るとともに資源ごみのリサイクル率向上に向けた活動に取り組めます。

● 環境関連法規等の遵守状況の確認並びに違反、訴訟の有無

違反については、特に関係機関から指摘事項はなく、また、訴訟等も同様に1件もありませんでした。

● 代表者による全体評価と見直しの結果

1. 環境管理責任者から代表者への報告

項 目	内 容
報告日	● 2011年 7月 2日 EA21システム運用状況全般について報告
使用した資料	① 環境方針 ② 廃棄物・エネルギー・水道使用量の削減施策 ③ 廃棄物・エネルギー・水道使用量使用グラフ ④ 教育・訓練実施及び資格取得計画 ⑤ 法令要求事項一覧表 ⑥ その他関連資料

2. 代表者による評価・見直しと指示

項 目	内 容															
EAシステム全体の評価	● 目標値に対し、電気・自動車燃料の削減活動が未達成となっている。早急に要因の洗い出しを行い、対策を実施して目標達成に向けて取組むこと。 ● 全社員の意識向上を図ること。															
システム変更の必要性	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項 目</th> <th>必要性</th> <th>④の場合の具体的指示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>環境方針</td> <td>有</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>環境目標</td> <td>有</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>環境活動計画</td> <td>有</td> <td>④</td> </tr> <tr> <td>EA21システム</td> <td>有</td> <td>④</td> </tr> </tbody> </table>	項 目	必要性	④の場合の具体的指示	環境方針	有	④	環境目標	有	④	環境活動計画	有	④	EA21システム	有	④
項 目	必要性	④の場合の具体的指示														
環境方針	有	④														
環境目標	有	④														
環境活動計画	有	④														
EA21システム	有	④														
見直し指示の根拠	● 電気・自動車燃料の使用量について、目標未達成の為早急に対応するよう指示あり。															

3. 環境管理責任者の処置

項 目	内 容
代表者の指示に対する 是正処置の状況	● 目標未達成項目に対する、現状の把握及び要因の洗い出しを早急に行うよう、担当者に指示。 ● 項目の対策実施に向けて、担当者及び担当課長と協力して活動を進めていくことを確認。 ● 啓蒙活動(EA会議・EA21通信等)にて、社員の教育及び意識の向上を図る。

● 対象の範囲と認証・登録の拡大計画

平成22年度の認証・登録は、本社(リフォーム事業部含む)のみとなっていますが、今後は全組織・全活動・全社員を対象とした全社的な取り組みを実施し、認証・登録の対象範囲の拡大を平成23年度から平成25年度にかけて段階的に取り組みます。

	平成23年度	平成24年度	平成25年度
本社 (リフォーム事業部含む)	電気使用量 水道使用量 コピー用紙使用量 自動車燃料使用量 廃棄物 環境啓蒙活動 (リフォーム事業部) 太陽光発電販売促進	電気使用量 水道使用量 コピー用紙使用量 自動車燃料使用量 廃棄物 環境啓蒙活動 (リフォーム事業部) 太陽光発電販売促進	電気使用量 水道使用量 コピー用紙使用量 自動車燃料使用量 廃棄物 環境啓蒙活動 (リフォーム事業部) 太陽光発電販売促進
	資機材の見直し・選択 (環境に優しいもの使用)		
マニュアルの見直し			
			ドライ清掃作業率UP (汚水の削減)
作業所 (全 50作業所)	環境啓蒙活動 3R活動推進 (ペットボトルキャップ ・空き缶プルタブの 収集等をお客様と 共に取り組む)	環境啓蒙活動 3R活動推進 (ペットボトルキャップ ・空き缶プルタブの 収集等をお客様と 共に取り組む)	環境啓蒙活動 3R活動推進 (ペットボトルキャップ ・空き缶プルタブの 収集等をお客様と 共に取り組む)
	環境負荷削減活動		環境負荷削減活動
	資機材の見直し・選択 (環境に優しいもの使用)		ドライ清掃作業率UP (汚水の削減)

● あとがき

22年度の取組みとして、電気・自動車燃料の使用量について目標値を達成することができませんでした。社員の皆さんの協力により社員の意識を高めることができました。今後の活動に際しては、東日本大震災・原子力発電所の事故等の影響によりエネルギーに対する取組み方も今までとは違ったものとなってくると思います。私達も、日本のエネルギー状況を参考にしながら今後も全社一体となってEA21の活動に取り組んでいきたいと思ひます。

2011年7月30日

EA21事務局

石川 光宣

新井 昌一

河田 真子